



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 8 月 1 7 日(日)

発行 館長 加藤 智 一

「見上げてごらん夜の星を」

日航ジャンボ機墜落事故（日本航空 123 便事故）からちょうど 40 年が経ちました。運悪くこの飛行機に乗っていたのが「見上げてごらん夜の星を」を歌っていた歌手、坂本九氏でした。坂本氏と山形県長井市を繋ぐ、地元では有名な逸話があります。それは、1982 年 3 月 6 日、山形県立長井工業高校定時制課程が 20 年の歴史に幕を閉じた翌日、最後の卒業生 8 人を励ます会が開かれた時のこと。その場に坂本九氏が訪れ、卒業生や先生、OB たちとともに「見上げてごらん夜の星を」を涙ながらに歌ったという記録が残っています。この訪問は、地元企業「吉田製作所」の社長であり、長井工業高校定時制の OB でもある吉田功氏の尽力によって実現しました。吉田氏は坂本九と同じ 1941 年生まれで、かつて集団就職で東京に出たものの、地元に戻って定時制に通いながら工場を立ち上げた人物です。彼は坂本氏に「ノーギャラで来てほしい」と頼みこみ、坂本氏は快く応じたといっています。励ます会の前夜には、吉田氏と坂本氏は酒を酌み交わし、下積み時代の苦労話を語り合ったそうです。そして当日、卒業生たちとともに歌った「見上げてごらん夜の星を」は、まさに名もなき星たちへの賛歌として、深い感動を呼び起こしました。この出来事は、坂本九が単なるスターではなく、地域の人々や若者たちの心に寄り添う存在だったことを物語っています。彼の死後も、長井市ではこの思い出が語り継がれ、地域の誇りとして残っています。

1963 年、昭和の高度経済成長期の只中に誕生した「見上げてごらん夜の星を」は、坂本九の代表曲として今も多くの人々の心に残る名曲です。その誕生の背景には、時代の空気、人々の心情、そして舞台芸術との深い関わりがありました。この曲はもともと、1963 年に東京・日生劇場で上演された音楽劇「見上げてごらん夜の星を」の主題歌として制作されました。脚本は永六輔、音楽はいずみたくという、当時の日本の芸能界を牽引する二人によって手がけられました。舞台は、戦後の混乱期を背景に、貧しさや孤独を抱えながらも希望を失わずに生きる若者たちの姿を描いたもので、坂本氏は主演として舞台にも出演していました。永六輔は、戦後の日本に生きる人々の心に寄り添うような言葉を紡ぎ出すことに長けていました。彼が書いた歌詞は、夜空に輝く

星を見上げることで、日々の苦しみや孤独を乗り越えようとする人々への優しい励ましとなっています。特に「見上げてごらん夜の星を 小さな星の 小さな光が ささやかな幸せをうたってる」という一節は、静かでありながら深い感動を呼び起こします。作曲を担当したいずみたくは、ジャズやポップスの要素を取り入れながらも、日本人の情緒に訴えるメロディを生み出すことに定評がありました。彼はこの曲に、シンプルでありながら心に残る旋律を与え、坂本氏の優しく包み込むような歌声と見事に融合させています。坂本氏自身も、この曲に特別な思いを抱いていたそうです。彼は、戦後の混乱期に育ち、庶民の苦労や希望を肌で感じていた世代です。そのため、歌詞の持つメッセージに深く共感し、舞台でもレコーディングでも、心を込めて歌い上げました。彼の歌声は、単なる技術ではなく、聴く者の心に直接語りかけるような温かさを持っています。

舞台の成功を受けて、同年にシングルとして発売されたこの曲は、瞬く間に全国的なヒットとなりました。当時の日本は、経済的には成長を遂げつつあったが、社会的にはまだ多くの人々が不安や孤独を抱えていました。そんな時代に、「見上げてごらん夜の星を」は、静かに、しかし力強く人々の心を照らす灯火となったようです。この曲の魅力は、時代を超えて共感を呼ぶ普遍性にあります。星を見上げるという行為は、誰にでもできるささやかな行動ですが、それが希望や連帯感を象徴するものとして描かれている点に、多くの人々が心を動かされました。また、歌詞に込められた「小さな幸せ」への眼差しは、現代の忙しさや情報過多の中でも、私たちに立ち止まって考えるきっかけを与えてくれます。

坂本氏は、その後も「上を向いて歩こう」などのヒット曲を通じて、日本の音楽史に大きな足跡を残しましたが、「見上げてごらん夜の星を」は、彼の人柄や人生観を最もよく表している作品のひとつと言えるでしょう。1985 年、日航機墜落事故で彼が急逝した際、この曲は多くの人々にとって彼の魂を偲ぶ象徴となりました。今もなお、学校の合唱曲やテレビ番組、災害時の応援ソングとして歌い継がれているこの曲は、単なる昭和の名曲ではなく、日本人の心の奥底に根ざした「希望の歌」として生き続けています。私たちの合唱団でも、年に一度の定期演奏会では、時折取り上げさせていただいております。